

このニュースは、国土交通記者会、ときわクラブ、都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、TX 沿線の記者クラブにリリースします。

平成 23 年 6 月 6 日
首都圏新都市鉄道株式会社

首都圏新都市鉄道(株)の平成 22 年度営業実績 ～開業以来最高の純利益 21 億円～



- 年間輸送人員は **1 億人** を突破
- 1 日あたりの輸送人員は **28 万人** を突破 (前年比 4.5% 増)
- 営業利益は **3 期連続**、経常利益は **2 期連続** で黒字を計上

秋葉原とつくばを結ぶつくばエクスプレス (TX) を運営する首都圏新都市鉄道株式会社 (代表取締役社長 高橋伸和、本社：東京都 台東区) では、この度、平成 22 年度の営業実績がまとまりましたのでお知らせします。

1 つくばエクスプレス (TX) の輸送人員

通期営業 5 年目である平成 22 年度の 1 年間の旅客輸送人員は、1 億 222 万人となり、1 日あたりの旅客輸送人員は、昨年度の 27 万人から約 4.5% 増加し、28 万 3 千人となりました。特に、定期旅客の輸送人員では前年比で 6.0% 増加しており、開業以来順調に推移しております。

年度	年間輸送人員	一日当たり輸送人員	一日当たり輸送人員内訳	
			定期	定期外
平成 22 年度	10,222 万人	283 千人	187 千人 (66%)	96 千人 (34%)
平成 21 年度	9,779 万人	270 千人	176 千人 (65%)	94 千人 (35%)
平成 20 年度	9,321 万人	258 千人	164 千人 (64%)	94 千人 (36%)
平成 19 年度	8,485 万人	234 千人	146 千人 (62%)	89 千人 (38%)
平成 18 年度	7,069 万人	195 千人	118 千人 (61%)	77 千人 (39%)
平成 17 年度	3,469 万人	150 千人	77 千人 (51%)	73 千人 (49%)

(係数は単位未満四捨五入)

これは、景気低迷による出控えのほか、東日本大震災及び東京電力における計画停電による一部運休等の影響がありましたが、沿線開発の進行を背景に、開業以来 TX が行う安全・安定・安心輸送に対する信頼が増したことや、お客様ニーズに合わせたダイヤ改正を毎年行い、利便性の高いサービスを提供していることなどにより、それまで旅客輸送人員が順調に推移していたことによるものです。

2 決算の概要

経常利益は前期比 2,599 百万円増加の 2,629 百万円と 2 期連続の黒字を計上しました。

当期純利益は特別損失に災害復旧費等 473 百万円を計上したことにより 2,141 百万円となりました。

なお、減価償却費計上前の経常利益は、開業後最大の 224 億円の黒字となっています。

(※) 減価償却費計上前の経常利益 (22,441) = 経常利益 (2,629) + 減価償却費 (19,812)

単位：百万円

項 目	平成 2 2 年度 (22/4~23/3) (営業日数 365 日)	平成 2 1 年度 (21/4~22/3) (営業日数 365 日)
A 営業収益 (うち旅客運輸収入)	35,398 (34,072)	34,248 (32,970)
B 営業費 (うち減価償却費)	32,432 (19,812)	32,570 (19,856)
C 営業利益	2,966	1,678
D 営業外損益	△337	△1,648
E 経常利益	2,629	30
F 特別損失	473	—
G 当期純利益	2,141	15

これは、旅客輸送人員増に伴い、営業収益が昨年度に比べ約 1.2 億円増加しており、また、開業費償却終了に伴い、営業外費用が昨年度に比べ約 1.3 億円減少したことが主な要因となっています。

つくばエクスプレス (TX) では、平成 23 年度についても、「安全・安定・安心輸送」を最大の経営課題として全社に徹底するとともに、長期的に安定的な経営を目指して、着実な前進を図ってまいります。